



八幡小だより 1月号

令和8年1月8日
八潮市立八幡小学校
児童405名 16学級

笑う門には福来る

校長 小久江 桂子

新年あけましておめでとうございます。

清々しい新年を迎え、子供たちの元気な笑顔が学校に戻ってきました。新しい年、希望に満ちた1月のスタートです。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。



さて、私が大好きな金子みすゞさんの詩『こだまでしょうか』を紹介します。

『こだまでしょうか』

「遊ぼう」っていうと
「遊ぼう」っていう。

そうして、あとで
さみしくなって、

「馬鹿」っていうと
「馬鹿」っていう。

「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていう。

「もう遊ばない」っていうと
「遊ばない」っていう。

こだまでしょうか、
いいえ、誰でも。

(引用文献:『金子みすゞ童話全集』 発行:JULA 出版局)



この詩は、『自分が友達に笑顔や優しい言葉を伝えれば、友達も自分に笑顔や優しい言葉で応えてくれる。心からの言葉は、相手の心にもちゃんと届く。』という、友達との関係や言葉遣いについて、大切な気付きを与えてくれる詩であると、私は感じています。

子供たちの笑顔は、学校にとって何よりの宝物です。

『笑う門には福来る』ということわざもあります。この一年、金子みすゞさんの詩のように、たくさんの笑顔と優しさで溢れる日々となることを願っています。

今年は、午年。今年も、皆様にとりまして、天高く駆ける馬のように、幸多き一年となりますように☆今年もよろしくお願いいたします。



八幡小のホームページを活用して、随時子供たちの様子を配信しています。
ぜひ、ご覧いただければ幸いです。

←本校ホームページ用 QR コード(読み取るとページに移動します。)